



# 安全報告書 (2017)

## 富士見パノラマリゾート

富士見パノラマスキー場第1ペアリフト  
富士見パノラマスキー場第2ペアリフト  
富士見パノラマスキー場第3ペアリフト  
富士見パノラマスキー場第4ペアリフト  
富士見パノラマスキー場第5ペアリフト  
富士見パノラマスキー場第6ペアリフト  
富士見パノラマスキー場 Gondola リフト



## 1. 利用者の皆様へ

日頃より、富士見パノラマリゾートのご利用と索道事業に対し、ご理解いただきまして誠にありがとうございます。

当スキー場はスキー場事業理念におきまして、お客様の「安全確保を第一」に掲げ、法令の遵守とともに安全輸送を最大限に努めております。

2017年度につきましてもご来場頂いた皆様が安心してご利用して頂けるよう、全従業員一丸となって輸送の安全確保に努める所存でございます。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、広くご理解を頂くために公表するものです。

一般社団法人 富士見町開発公社  
理事長 小林 一彦

## 2. 安全基本方針

当社のスキー場事業理念の第一は安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、理事長以下従業員全員に周知、徹底しております。

- 1) 一致団結して輸送の安全の確保に努めること。
- 2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定(本規定を含む)をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- 3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- 4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱を行うこと。
- 5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行うこと。
- 6) 情報は常に漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- 7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

## 3. 索道運転事故発生状況

### 1) 索道運転事故

2016年度は、国土交通省への索道運転事故、人身事故の報告はありません。

### 2) 災害(地震・暴風・豪雪など)

2016年度は、災害による運行停止はありません。  
尚、強風による運行停止は安全確保のため、状況により実施いたしました。

### 3) インシデント(事故の前兆)

2016年度は、国土交通省へのインシデント報告はありません。

#### 4. 安全確保のための取組

##### 1) 安全重点施策

当社では、安全重点施策として年間、中期、長期の整備計画を作成しています。

##### 2016年度の主要整備実施項目

第1ペアリフト	握索機更新(全60台)
第2ペアリフト	握索装置オーバーホール(全81台)
第3ペアリフト	握索装置オーバーホール(全110台)
第4ペアリフト	握索装置オーバーホール(全126台) 原動設備整備工事(主モータ、減速機、制動ユニット)
第5ペアリフト	折返し滑車整備工事、折返しステージ改修工事
第6ペアリフト	通常整備
ゴンドラリフト	支柱索受け整備工事、索受けビーム更新(3、4、5、8、19号支柱)
	折返し滑車整備工事、折り返し滑車非破壊検査、握索機整備工事(14台)
	高圧受電盤設備改修工事(LBS)、高圧埋設引込ケーブル交換工事(130m)

通常整備 : 全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

##### 2017年度の主要整備計画項目

第1ペアリフト	通常整備
第2ペアリフト	通常整備
第3ペアリフト	通常整備
第4ペアリフト	握索機更新
第5ペアリフト	握索機オーバーホール(84台)
第6ペアリフト	原動設備整備工事、緊張シリンダーロード交換
	握索機オーバーホール(60台)、折り返しステージ改修工事
ゴンドラリフト	支柱索受け整備工事、索受けビーム更新(7、20、26A、26B、27A、27B号支柱)
	折返し滑車整備工事、握索機整備工事(14台)
	サイリスタ盤主回路遮断機交換工事、山頂山麓場内押送レール調整工事

通常整備 : 全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

##### 2) 人材教育

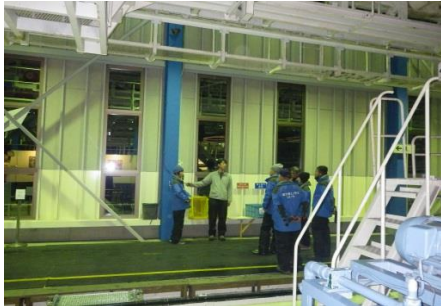
当社では、輸送並びにお客様の安全確保に役立つよう、シーズン営業開始前及び営業期間中についても、社員及び経験者の指導による施設の仕様及び、リフト運行取扱についての安全教育及び、各種研修会に積極的に参加しています。

- \* 勤務前研修(冬季) 12月12、13日 冬季雇用スタッフ
- \* 索道技術研修会(北陸信越山岳観光索道協会) 4月12、13、14日 3名
- \* 油圧装置 テクニカルセミナー(日本ケーブル) 5月23、24、25日 1名
- \* 電気中級 テクニカルセミナー(日本ケーブル) 6月8、9、10日 1名
- \* 長野地区部会索道技術研修会(長野地区部会) 7月1日 2名
- \* TRS索道技術研修会(TRS) 7月4、5日 2名
- \* 資格取得(日立建機) 8月 2名
- \* 平成28年度索道技術管理者研修会(北陸信越運輸局) 10月6、7、8日 2名
- \* TRS索道技術管理者研修会、会議(TRS) 10月26、27、28日 1名
- \* 南信地区部会事故防止研修会(南信地区部会) 4名

【勤務前研修】



【研修受講写真】



【勤務前研修】



【研修受講写真】



### 3) 訓練

毎年スキーシーズン前及びシーズン中にリフトの救助訓練を実施しています。

救助訓練実施状況（4月1日～3月31日）38回

\* ゴンドラ救助訓練 実救助訓練 6回

\* ゴンドラ救助訓練 予備エンジン救助訓練 28回

\* ペアリフト救助訓練 4回

合同救助訓練 4月28日（46名）、12月2日（41名）（諏訪広域消防本部、茅野警察署）

【勤務前救助訓練】



【消防警察合同救助訓練】



【シーズン中救助訓練】



【予備原動機救助訓練】

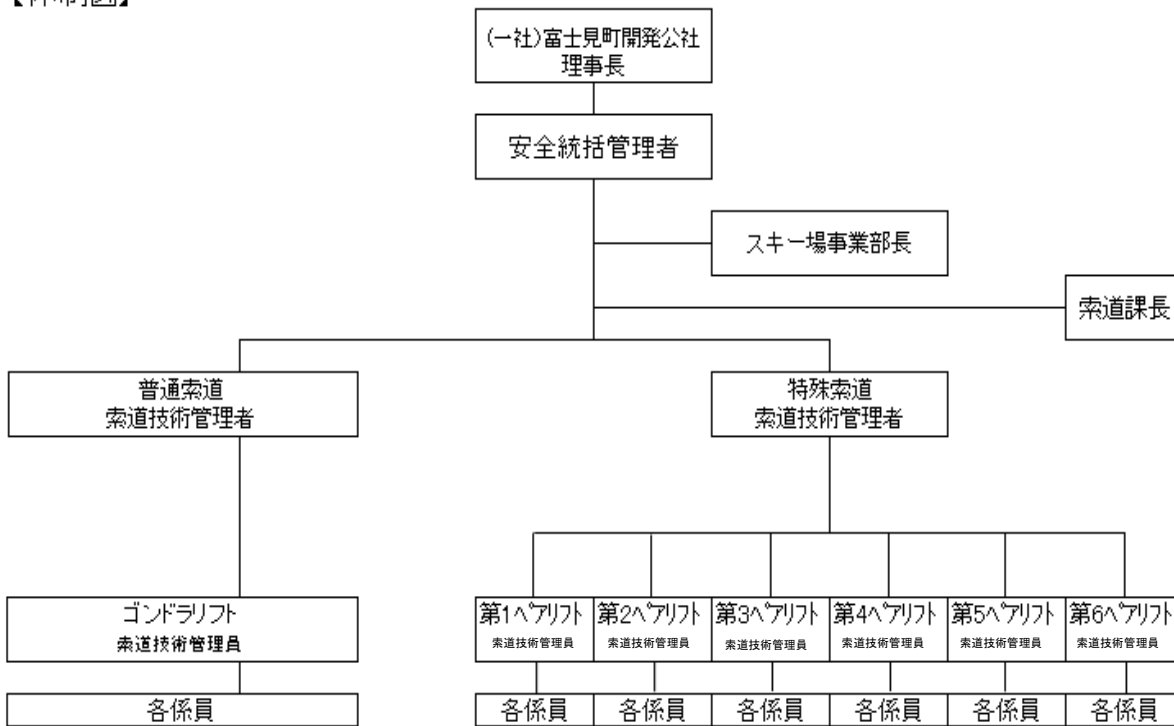


## 5. 安全管理体制図

平成25年5月に「安全管理規程」を改正し、理事長をトップとする安全管理体制を構築しております。この組織の中でそれぞれの責務を明確にした上で安全確保に努めております。尚、各管理者の役割は下記の通りです。

理事長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

### 【体制図】



## 6. 終わりに

安全管理規程に則り、安全の確保を第一に掲げ、努力してまいりました。これを踏まえ、来シーズンもお客様が安全・安心・快適にご利用頂けます様、設備の充実、整備、運行管理等を実施し、安全で快適な索道運行を目指し、更なる安全管理の向上を図って参ります。この報告書を2016年度の安全報告書とさせていただきます。